

常務のコラム

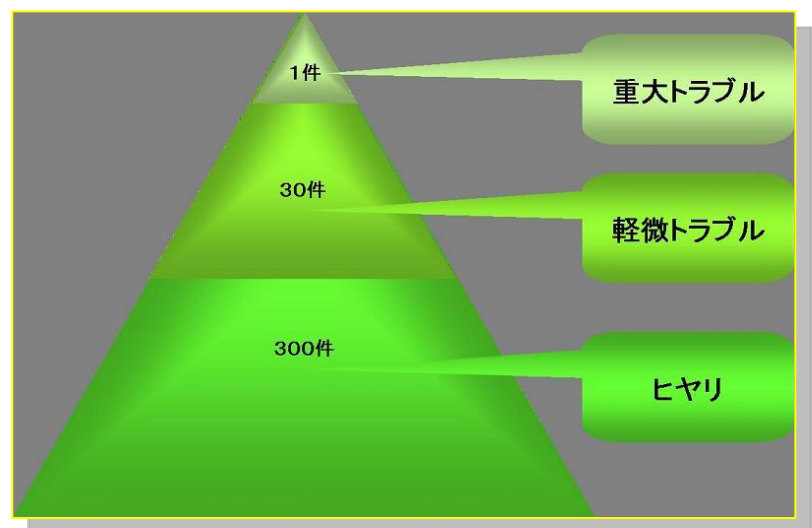
【事故の撲滅と輸送品質の向上に向けて】

毎日の業務、大変お疲れ様です。  
暑い夏もみなさんの力で乗り切る事が出来ました。ありがとう。  
最近朝晩の冷え込みが大きくなる時期です。体調管理に十分気配りをしてください。新型インフルエンザも気になります。

シルバーウィーク中の各課の緊急ミーティングお疲れ様でした。  
所属長から大変有意義のあるミーティングだったと報告を受けています。  
休日の中、誠に申し訳ありませんでしたが、春先から車両事故、交通違反、商品破損、お客様からのクレーム等、例年以上のハイペースで起きていたために開きました。

これらの要因には、「会社からの教育」、「配車から現場への情報不足」、「現場での指導不足」、「会社&顧客&ドライバー間のコミュニケーション不足」、「ドライバーの認識」、「経験の不足」・・・等々幾多もありますが、このミーティングであらゆる危険因子を共通認識できたかと思えます。

ハインリッヒの法則



よくいわれる氷山の一角というのがありますが

- ◆ 1件の大きな事故の影には約30件の軽微な事故があり、さらにその影には約300件の「ヒヤリ」が存在するというものです。
- ◆ 大きなトラブルの前にはトラブルとは言えないような様々な予兆が多く発生し、見過ごしがちな小さな問題としてときどき表面化しているはずです。
- ◆ 私たちは日頃から、業務に関連して起こる事象に対して、敏感でいなくてはならないと考えます。
- ◆ そういう意味で、危うく失敗するところだったという「ヒヤリ」「ハット」に関する情報を自分の中だけで終わらせず今日あった事を報告し、根本原因を分析することで軽微、重大トラブルを未然に防ぐことが重要です。
- ◆ 報告しやすい環境を作っていきましょう。
- ◆ 大きなトラブルを防ぎ、許容できる小さな失敗にとどめるための活動のポイントは、ミスを責めず、問題点や原因を上下関係問わず自由に話し合えるようにし責められるべきは、「ヒヤリ」「ハット」や軽微なミスなどを隠す行為であり、あえて行われる危険な行為（不安全行動）です。
- ◆ 予兆の段階からしっかり報告できる会社の仕組みを作り、積極的に分析を行い従業員の安全と事故の撲滅、輸送品質の向上は日々の積み重ねで築かれるものです。

これから後半戦に突入します。  
厳しい環境の中、従業員一致団結で頑張りましょう。

PS  
ミーティングで言い忘れた事とか、聞きたい事があればいつでも尋ねてきてください！